

じ か つ



自立活動だより NO. 15
令和3年10月21日(木) 文責：佐方

最近の抽出指導

夏季休業と分散登校で随分間が開きましたが、子ども達は、自立活動抽出指導の時間を楽しみにしてくれているようです。最近の抽出指導の様子をお知らせします。

1 手にしたモノを投げてしまうAさん

「どうぞ」と渡したモノをすぐに投げてしまう習慣は、改善したい習慣といえます。「オペラント条件づけ」をご存じだと思いますが、それを応用した事例です。

ブランコが大好きなAさん。以前は、VOCAに「もう一回」を録音して、揺らしてもらうことを要求していました。

2学期は、「玩具の10円玉を小さな箱に入れるとブランコを揺らす」という条件をつけてみました。



親指と人差し指でコインをつまみ箱に入れることができました。他のモノにも広がることを期待します。



満面の笑み！

ある特定の自発的に行う行動を「オペラント反応」といいます。

この反応に対する「報酬」はブランコを揺らしてもらえることです。

これを「強化」と呼びます。

「10円入れてくださいな。」

ブランコ（ポニースイング）に乗るまでに設定した課題



膝立ち



つかまり立ち



ボードに乗る

目の前に手に入れたいモノ（遊び）があれば、強い動機で、どうにかして手に入れたい（遊びたい）と思って動くのではないかという仮説を立てます。

2 腹筋は使えるが、腹圧を高められないKさん

Kさんは、トランポリンは安定した姿勢で跳び続けることができます。また、腹筋運動の上体起こしも支障なくできます。ただ、腹圧を高める感覚が育っていないのか、プランクの時に体を真っ直ぐに保持できません。

そこで、腹圧を高める感覚を養うために、ヘビ笛を吹いたり、風船を膨らませたりする活動を取り入れてみました。今後の変容に期待したいと思います。



12分間のキッチンタイマー

Kさんは、大きなタイムタイマーで全体の時間、小さなタイマーで活動毎の時間を確認し、スムーズに活動を切り替えています。